

令和2年度東北ストーマリハビリテーション講習会中止のお知らせ

新型コロナウイルス(COVID-19)の猛威は留まることなく世界を覆う昨今、現在罹患し治療中の皆さまの一日も早い治癒を願うとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、東北地区におけるストーマリハビリテーションの向上を目的として、平成2年より毎年1回、東北ストーマリハビリテーション講習会を開催しております。当講習会は、「人工肛門・人工膀胱術前処置加算」が算定可能な施設基準を満たすためのストーマに関する適切な研修会に認定されております。これまで毎回多数の申込希望を頂いており、当講習会への期待が高まると同時にその責任も大きいと認識しております。

しかしながら、現在の本邦におけるCOVID-19の感染状況を考慮した結果、本年度は中止とさせていただくことといたしました。受講に関する需要も年々高まっておりますが、受講者及び講師の安全を考慮し苦渋の決断となりましたことを、御理解下さい。

尚、今後の動向につきましては当講習会ホームページを御覧いただければ幸いです(<http://www.woc.hosp.tohoku.ac.jp>)。

出口の見えない状況ではありますが、次年度以降講習会を再び開催すべく準備を進めて参ります。今後ともご理解、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年4月

東北ストーマリハビリテーション講習会

代表世話人

東北大学大学院 消化器外科学分野

教授 海野 倫明

東北ストーマリハビリテーション講習会実行委員長 神山 篤史